

新型コロナワクチン接種 4回目接種を開始します

4回目接種は、重症化予防を目的として、次のとおり実施します（無料）。

- 対象者 ① 60歳以上の人（申請不要）
② 18～59歳の基礎疾患を有する人など（申請必要）
- 接種時期 6月上旬から順次接種開始
- 接種間隔 3回目接種から5か月経過した後
- 使用するワクチン


ファイザー社ワクチン	武田 / モデルナ社ワクチン
約20%	約80%



18～59歳の方は
申請が必要です

4回目に使用するワクチンは、国が上記の割合で供給を計画しており、竹原市も同じ割合で配分される予定のため、大多数の方に武田/モデルナ社製を接種していただくことになります。

- 事前申請（年齢は令和4年6月30日時点）

① 60歳以上の人	申請は不要です。 3回目接種から5か月が経過する時期に合わせて、接種券が印字された予診票（みどり色）を送付します。 
② 18～59歳の基礎疾患を有する人など	事前申請が必要です。 基礎疾患の申請があった人に、5か月が経過する時期に合わせて、接種券が印字された予診票（みどり色）を送付します。 ※申請方法は、一緒に配布したチラシを確認してください。

- 3回目接種を希望される人へ

引き続き予約を受け付けています。新型コロナワクチン予約受付・相談ダイヤル（☎050-3625-9555）か竹原市ホームページ専用フォームから予約ができます。



問い合わせ 保健センター ☎22-4699

おめでとうございます

春の叙勲受章

4月29日、春の叙勲受章者が発表されました。



瑞宝単光章 受章

たおした きよたか
峠下 清孝さん

（福田町）

元竹原市消防団分団長の峠下清孝さんは、約37年にわたり、消防活動や防災活動に従事し、地域住民の安心・安全を最優先に活動してこられました。

男女共同参画週間

6月23日（木）～29日（水）は、「男女共同参画週間」です。性別にとらわれず、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには行政だけでなく、市民のみなさん一人ひとりの理解と取組が必要です。

今年度のキャッチフレーズは『「あなたらしい」を築く、「あたらしい」社会へ』です。私たちにできることは何か、この機会に考えてみませんか？

問い合わせ

地域づくり課人権男女共同参画係

☎22-7736



新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中、今年も大雨や台風シーズンがやってきます。洪水や土砂災害に警戒し、「自分たちの命は自分たちで守る」という心構えで、日頃からの準備をしましょう。

●ハザードマップを確認しましょう

住んでいる場所の災害リスクを確認し、避難する必要があるのか確認しましょう。避難する必要がある場合は、避難経路や避難先をあらかじめ決めておきましょう。

避難とは「難」を「避」けること

自宅で安全確保が可能な人は、避難所に行く必要はありません。避難所に行くことにこだわらず、親戚・知人宅などご自身を守ることができる安全な場所に避難することも考えてみましょう。

※竹原市防災ハザードマップをお持ちでない方は、危機管理課でお渡しすることができます。

●避難のポイント

明るいうちに	夜間の避難は大変危険です。大雨時のピークが夜間になることが予測される場合は、明るいうちに避難しましょう。
大雨になる前に	大雨の中での避難は大変危険です。台風や集中豪雨が予想される場合は、道路の冠水等により避難経路が遮断されることを想定して早めに避難しましょう。
子供や高齢者等は早めに	避難に時間がかかるため、早めの行動が大切です。近所に高齢者や配慮が必要な方がいたら、声をかけて避難に協力しましょう。

●危険な場所には近づかない

増水した小川や側溝は大変危険です。日頃は安全と思われている場所でも油断せず、これらの場所には近づかないようにしましょう。



(令和3年7月東野町)

●避難所の開設状況・混雑状況を確認してください

市では、災害の種別や規模によって、開設する避難所などを決定します。避難する人は、次の方法により避難所の開設状況を必ず確認し、避難してください。

情報の入手方法

防災情報を活用して、早めに自主避難するなど、万全の対策を取りましょう。（自主避難する場合は、人数・名前・住所などを危機管理課に連絡してください。）

竹原市防災情報メール、告知放送設備（屋外スピーカー）、市ホームページ、市ツイッター、市フェイスブック、LINE、タネット放送、広島県防災WEB、テレビのデータ放送など

広島県防災WEBでは開設状況・混雑状況が確認できます

避難所開設時に、避難所の混雑状況がスマートフォンなどで確認できるようになりました。混雑状況が確認できることで、コロナ禍での3密回避や分散避難につながります。QRコードからアクセスできます。

広島県防災WEB ▶



緊急時に有効な「竹原市防災等情報メール」の登録を！

【登録方法】

①携帯電話やパソコンから、次の登録用アドレスへ空メールを送信するか、右の二次元バーコードを読み込んでください。

bousai.takehara-city@raidens3.ktaiwork.jp

②メール配信サービスのページから配信登録を申し込みます。

③登録用URLが記載されたメールが届きます。

④メールに記載されている登録用URLにアクセスします。

⑤画面表示に従ってください。

⑥登録完了のメールが届きます。



登録無料！
竹原市防災
情報等メール

市からの防災情報等を
登録先へメール配信
します。

●スマホなどから河川の様子が確認できます

賀茂川と本川について、監視カメラ画像及び河川水位計が確認できます。

川の水位情報

※地図を拡大してお近くのカメラでご覧ください。



広島県河川防災情報

※「概況切替」の「カメラ情報」に☑し、地図を拡大してお近くのカメラでご覧ください。



●非常持出品を確認しましょう

すぐに持ち出せるように、必要最小限の物を袋（リュックサックなど両手が空くもの）にまとめておき、玄関などの目につきやすく、持ち出しやすいところに置いておきましょう。

【参考】

- 食料品（1日分） □飲料水（1リットル） □寝具（毛布など） □懐中電灯
- 携帯型ラジオ □常備薬 □歯ブラシ □タオル
- 携帯電話の充電器 □貴重品（現金、保険証、お薬手帳、免許証）など

また、新型コロナウイルス感染防止対策のため、マスク、アルコール消毒液（携帯用除菌シート）、体温計を自ら携行してください。

個人に合わせた非常持出品を考えておきましょう。

在宅避難時の備蓄

ライフラインや物流が止まってしまったときに備えて、飲料水や非常食などの備蓄品を用意しておきましょう。

【参考】

- 飲料水（1人1日3ℓ・3日分） □食料（調理不要な缶詰、インスタント・レトルト食品など、非常食3日以上）など

●警戒レベルで避難のタイミングをお伝えします

災害発生の恐れがある場合、竹原市ではあらゆる手段を使って避難情報や避難所開設情報等を発信しています。なるべく多くの手段で情報を入手するよう努めてください。

また、近くで異常な現象を発見した場合は、直ちに市へ連絡をお願いします。

「警戒レベル4」
で危険な場所にいる人は全員避難！

「警戒レベル」で
避難のタイミングをお伝えします。

警戒レベル	避難情報等	避難行動等
警戒レベル5	緊急安全確保 (市が発令)	既に災害が発生または切迫している状況です。 <u>命を守るための最善の行動</u> をとりましょう。
警戒レベル4 全員避難	避難指示 (市が発令)	危険な場所にいる人は速やかに避難しましょう。 <u>避難先までの移動が危険と思われる場合は</u> 、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル3 高齢者等は避難	高齢者等避難 (市が発令)	危険な場所にいる人で、 <u>避難に時間を要する人（高齢者、障害のある人、乳幼児等）とその支援者は避難を</u> しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル2	洪水注意報 大雨注意報 (気象庁が発表)	避難に備え、ハザードマップ等で自らの <u>避難行動を確認</u> しましょう。
警戒レベル1	早期注意情報 (気象庁が発表)	災害への心構えを高めましょう。

●市の避難情報

夜間に【警戒レベル3】「高齢者等避難」以上の情報を発令する可能性がある場合は、自主避難所を開設し早めの避難を呼びかけます。

問い合わせ 危機管理課 ☎ 22-2283

大きな災害が起こった場合、大量のごみが発生します。

早期復旧・復興のためには、迅速なごみ処理が必要不可欠です。分別されずに排出された場合、その後の処理が難しく処理の遅れにつながってしまいます。

分別することで処理期間が短くなり、悪臭の発生等の被害を抑えることができるため、災害時でもごみの分別を行うことにご協力をお願いします。



分別ができていないと、処理する時間も費用も余計に掛かってしまいます。



分別されていれば、搬入と搬出がスムーズに進み、時間と経費が短縮できます。

1日でも早くごみが片つくよう、ご協力をお願いします。

- ・災害ごみのごみステーションに出ると、通常的生活ごみが収集できなくなります。
- ・分別できていない、災害に関係のないごみは、出さないでください。収集されない恐れがあります。

日頃から備えておきましょう。

- ・家や倉庫の中にある不用品は整理して、災害時のごみ出しに苦労しないように備えておきましょう。

告知放送設備を用いた緊急地震速報訓練を実施します

地震の発生時に備え、次のとおり緊急地震速報訓練を行います。この訓練は、全国瞬時警報システム（Jアラート）を用いた訓練です。訓練放送が流れましたら、地震の発生を想定し、姿勢を低くし机の下に隠れるなど、速やかに身を守る「安全行動」をとってください。

- 1 訓練実施日時 6月15日（水）10時頃
- 2 訓練で行う放送内容

情報伝達手段	放送内容
告知放送設備※	1 上り4音チャイム 2 只今から訓練放送を行います。 3 緊急地震速報チャイム音 緊急地震速報。大地震です。大地震です。これは訓練放送です。 （3回繰り返し）

※告知放送設備とは、市内20箇所に設置している屋外スピーカーと、市内公共施設等39箇所に設置している告知放送端末です。

※当日、防災メールによる配信訓練は行いません。

問い合わせ 危機管理課 ☎ 22-2283